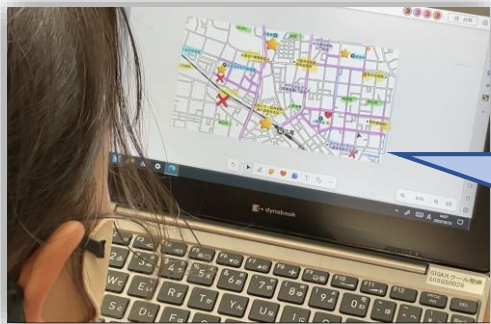


【取組内容①】 Microsoft Whiteboardを活用したハザードマップ（案）づくりで「自己調整力の育成」

個別最適な学び
見通しを持ち自らの学習の状況を把握

自己調整力

協働的な学び
他者・地域との交流で自らの理解を確認



Microsoft
Whiteboard



取組の内容

- ★総合的な学習の時間に、自分たちの校区のハザードマップ作成をめざし、一人一台端末を活用してクラウド上で原案を作成。
- ★防災学習センター訪問や校区調査を行いながら、Microsoft Whiteboard上で意見を出し合い避難場所や経路、危険箇所などをマップに記述。

ICT活用のポイント

- ★Microsoft Whiteboardを活用することにより、クラウド上の付箋で他者と意見交流ができたりマップに直接文字や矢印、線などを記述したりすることが可能。
- ★1つのマップをクラウド上で共有することにより、他者の活動から自分の学習状況を把握できる。

子どもの変容

- ★クラウド上で他者と活動を共有することにより、自らの学習状況を把握し、次どのような活動をすればよいか見通しを持つことができ、自らの学習を調整する子どもたちの姿が見られるようになった。

【取組内容②】 Microsoft Teamsを活用した市役所の方とのオンライン授業

①市役所に関する質問

1. 学校近隣の施設として八尾市立図書館を見学
2. 図書館を見学したことから近隣にある他の施設について考え、市役所を選択
3. 市役所の方に質問したいことをピックアップ

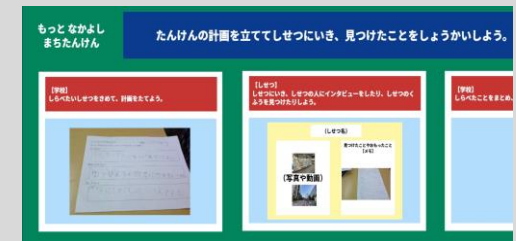
②オンライン授業

1. Microsoft Teamsで市役所の方とオンラインで会話
2. 事前にまとめた知りたいことを質問・市役所の方からのクイズなど



③学習のまとめ

1. 提供してもらった市役所に関する写真や資料をクラウド上に保存
2. オンライン授業を受けて思ったことやもっと知りたいことなどを整理



第2学年生活科 単元名「もっとなかよしまちたんけん」

変容・期待

- ・ゲストティーチャーとオンラインでつなぐ場合、打ち合わせの段階からつなぐこともできるので密に連絡を取り合える。【教師】
- ・これからの学習の中で、「詳しく聞きたい」場面でオンラインでつなぐという選択肢が増えていく。【児童】

【取組内容⑤】 Microsoft Swayを活用したホームページでのICT実践事例の発信

1 Microsoft Swayの利点

- ★「テキスト」「画像」「スタイル」など、文書入力や画像の挿入、レイアウトの設定のような使用頻度の高い機能が中心に組み込まれていて、作りたい資料やデータを簡単に作成することができる。
- ★一つ一つの機能が限られた操作のみに絞られていて、迷うことなく選択することができる。

2 実践例



「画像」⇒「テキスト」
⇒…の順に作成していくと
すぐに資料が出来上がる。

レイアウトは限られた選択肢の中から、掲載したい画像や文字数に合ったものを簡単に選ぶことができる。



3 本市教職員の反応（一部）

- ★表現が豊かでありながらシンプルなページ構成で見やすいと感じる。
- ★短時間でこのようなコンテンツ作成が可能であれば今後使いたい。

Microsoft Swayで
ホームページを更新する流れ

①情報収集
日頃の授業や学力部会、職員会議等でICTを活用したデータを収集。ソフトウェア活用の手順や留意事項を記録。

②Sway作成
上記①で集めたICTを活用している場面の写真やその教科やめあて、具体的な内容などを記述。

③リンクをホームページへ
作成したSwayを共有し、リンクを学校ホームページに貼り付け、情報を発信。

【1】1学期、2年生に校内の教室を紹介してもらった「がっこうたんけん」！

今度... 授業... 使っ